

キラリ★八代人



熊本高専八代キャンパス ロボコン部

- 前列左から
南條 充宏さん(3年)
湯野 友貴さん(5年)
加世田 佳朋さん(2年)
 後列左から
森崎 弘樹さん(5年)
森本 堅太さん(5年)
宅島 幸正さん(2年)
満永 仁さん(1年)
堀上 大貴さん(1年)



▲全国大会での試合

11月25日にアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018が開催され、熊本高等専門学校八代キャンパスのロボコン部のチームがロボコン大賞に輝いた。

メンバーは機械知能システム工学科1～5年の8人で、5月から大会に向けて取り組んできた。今回の競技テーマは Bottle Flip Game (ボトルフリップ・カフエ)。手動ロボットと自動ロボットを使って高さの異なる8カ所のテーブルに向かってペットボトルを投げ、立たせた本数を競った。

製作したロボット「Bastai」には、手動ロボットと自動ロボットの合体での動作と個別での動作ができる2種類のシステムを組み込んだ。また、ペットボトルの中身には弾みを軽減するために輪ゴムを採用し、テーブルの高さごとにペットボトルの形や重さなどを調整して臨んだ。

九州・沖縄地区大会では43点を獲

4年ぶり2回目となるロボコン大賞受賞

得し、代表4校に選出。さらに得点を伸ばせるように調整を何度も行い、迎えた全国大会では、1回戦で本年度の大会で最高の60点という圧倒的な得点力を見せた。準決勝からは全てのテーブルにペットボトルを立てるルールとなり、同校はロボットを個別に動かす作戦で進めた。が、時間内に調整が十分にできず、準決勝で惜しくも敗れた。

しかし、圧倒的な得点力を高く評価され、アイデア・技術などを総合的に判断して最も優れたチームに贈られるロボコン大賞を受賞した。また、大会中に最もツイートを多く集めたバズコン大賞と出場各校のメンバー投票によるロボコンリスト賞も受賞した。

チームリーダーの湯野友貴さんは「努力が評価されてうれしい。後輩たちには優勝とロボコン大賞の2つを目指して頑張ってもらいたい」とエールを送り、夢を託した。

先輩社員の声

- ・研修制度が充実しています。毎月勉強会もあるので、スキルアップにつながり、資格も取りやすいです。(介護職・男性・25歳)
- ・職場は若い人も多く、職員みんなが明るく楽しい環境です。(介護職・女性・33歳)
- ・利用者からの感謝を身近に感じることができるので、やりがいがあります。(看護師・女性・67歳)



施設長メッセージ

当園は「心に生きがいを、体に動く喜びを」を目標に高齢者の生きがいづくりと、安心・安全なサービスの提供、地域の福祉拠点を目指すことを理念としています。育児休暇を取得したあとも、自分に合った働き方をすることができます。

また、毎月の職員勉強会や外部研修などをとおして職員のやりがいを見だし、働きやすい環境を目指しています。



発見 ✨ 元気印の会社 ✨ 10

今月の元気印の会社は県のブライツ企業に認定された「社会福祉法人 松高福祉会」です。



《会社概要》

社会福祉法人 松高福祉会

施設長 田方 みどり

所在地 八代市高島町4221(介護老人福祉施設みやび園)
 八代市高島町4180(ケアハウスりんご園)

☎ 32-0088(介護老人福祉施設みやび園)

☎ 32-0118(ケアハウスりんご園)

HP <http://www.miyabien.jp/>

従業員数 88人

事業内容 デイサービス、在宅介護支援、短期入所生活介護など